

《 まちづくり協働部 平成28年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

部長 吉本 勝明

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

住み良いまちを築くために、まちづくり協議会や、市民公益活動団体等の多様な主体と連携、協力しながら協働のまちづくりを推進します。

◆町内会の活動を推進するための支援を行います。

◆自分たちの住む地域をさらに住みよい地域にするため、まちづくり協議会が行う住民主体のまちづくりに対して支援を行います。

◆老朽化が著しい公共施設等(草津合同ビル、草津市立まちづくりセンター、草津市立人権センター、草津市社会福祉協議会)を集積させ、加えて、子育て支援の情報交流や子どもから高齢者まで多世代交流ができる空間等を設けることにより、中心市街地に人、もの、情報等が集まり、多くの市民が活用しやすく交流できる施設として、地域力を創造・発信していく(仮称)市民総合交流センターを整備します。

◆地域のまちづくり拠点・地域コミュニティの形成拠点である市民センターについて、建築後相当年数が経過し、施設自体の老朽化が進んでいる施設の改築を進めます。

◆消費者被害の未然防止を図り、消費者教育を推進するため、消費生活相談体制を堅持し、積極的な教育・啓発活動に努めます。

◆老朽化した火葬場の整備について、今後の方向性を検討し、移転の場合のモデルプランや、整備にあたっての法的条件等の整理などを示す基本構想を策定します。

◆平成27年10月からマイナンバー制度が始まり、平成28年1月から申請に基づき個人番号カードの交付が始まります。このカードが交付されることに伴い平成28年10月からコンビニ交付の導入を行う予定です。

【重点事項】

◆まちづくり協議会の円滑な運営に向けて、職員雇用に関する経費をまちづくり協議会運営交付金により支援します。また、まちづくり協議会を総合的に支援するため、交付金制度を充実させます。

◆市民センター(公民館)の指定管理者制度の導入に向けて、まちづくり協議会連合会との意見交換・情報共有などを充実させ、まちづくり協議会の支援を強化します。

◆平成27年度から着手している笠縫市民センターの改築工事を完了し、改築後は、現在の笠縫市民センター敷地を駐車場として整備します。あわせて常盤市民センターの改築に向けて設計業務を行います。

【見 積】平成28年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		平成28年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
まちづくり協働課	582,428	531,372	○まちづくり協議会を総合的に支援します。 ○笠縫市民センターの改築工事をを行い、改築後に現在の笠縫市民センター敷地を駐車場として整備します。 ○常盤市民センターの改築に向けて基本設計・実施設計業務を行います。 ○個人番号カード交付・各種証明書のコンビニ交付の普及に取り組みます。 ○各種相談業務をはじめ、消費者教育・啓発活動に取り組みます。 ○路上喫煙防止に向け、啓発事業の充実に取り組みます。
拠点施設整備室	213,947	92,547	
市民課	119,468	54,211	
生活安心課	70,472	17,369	
合 計	986,315	695,499	

【前年度】平成27年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
まちづくり協働課	503,696	488,385	
拠点施設整備室	489,061	27,220	
市民課	125,194	23,994	
生活安心課	70,000	19,076	
合 計	1,187,951	558,675	

【増 減】(【見積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
まちづくり協働課	78,732	42,987	○老上西市民センターの開設に伴う維持管理費の増 ○コミュニティハウス整備事業の集会所新築補助に伴う増 ○(仮称)市民総合交流センターの実施設計が完了することによる減 ○平成27年度中に老上西市民センターの工事が完了することによる減 ○火葬場の維持管理経費ならびに将来の火葬需要に対応するための整備費用の増 ○個人番号カードの交付やコンビニ交付開始に伴い、臨時職員2名、派遣職員7名(2人×12月、5人×7月)の増加、コンビニ交付システムの委託料、使用料及び賃借料の増加。 個人番号カード交付事業費補助金の減少。
拠点施設整備室	▲ 275,114	65,327	
市民課	▲ 5,726	30,217	
生活安心課	472	▲ 1,707	
	0	0	
	0	0	
合 計	▲ 201,636	136,824	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	一般会計		事業概要
		一般会計	特別会計	
まちづくり協議会運営交付金	111,328	111,328		まちづくり協議会の継続的で安定した運営を図るため地域職員の雇用に必要な経費や運営に必要な経費について支援を行います。
がんばる地域応援交付金	14,000	14,000		まちづくり協議会が提案を行う、地域の魅力創造に関する事業に対し、審査のうえ交付金の交付を行います。
火葬場等管理運営費 (火葬場管理運営費)	37,701	1,624		老朽化した火葬場の整備について、今後の方向性を検討し、移転の場合のモデルプランや、整備にあたっての法的条件等の整理などを示す基本構想を策定します。(4,040)
市民センター整備費	208,547	87,147		平成27年度から着手している笠縫市民センターの改築工事を完了します。あわせて常盤市民センターの改築に向けて設計業務を行います。

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
まちづくり協働課	197,193	224,989	▲ 27,796			0	■コミュニティ支援センターの実施設計および監理委託費を新たに見積もったため。(4,932千円) ■老上西学区の設立に伴い、一括交付金を増額するため。(3,265千円) ■マイナンバー制度およびコンビニ交付対応に関する事務費の増額のため。(25,051千円) ■笠縫市民センターの改築工事の完了、および常盤市民センターの設計業務を行うため。(6,747千円) 他
拠点施設整備室	500	12,147	▲ 11,647			0	
市民課	1,951	32,889	▲ 30,938			0	
生活安心課	6,195	6,195	0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	205,839	276,220	▲ 70,381	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

<ul style="list-style-type: none"> ●事業の検討 NPO派遣研修事業実施の制度の一時休止。 ●事業の縮小 暮らし相談事業の縮小。 ●事業の見直し 国際交流業務委託の規定経費の見直し。 ●嘱託職員報酬 嘱託職員、スポット職員を臨時職員に変更する。
